



ほほえみだより

笑顔いっぱい 生き生き
今日も来てよかった治田東の子ども

栗東市立治田東小学校

第3号

令和5年5月31日

広がれ！人と人とのつながり

「1年生を迎える会」を5月12日に開催しました。これは、新入生の子どもたちに治田東小学校の仲間になった喜びを伝えるために、上学年の子どもたちが歌や呼びかけ、寸劇などを披露するものです。当日に至るまでは、上学年の子どもたちは「1年生へ何をしたら、楽しんでくれるか」「どのように言えば、わかってもらえるか」「1年生に喜んでもらいたい」など考えながら、熱心に練習に励んできました。1年生が体育館で待っているところに、次々と上学年がやって来て、歌や呼びかけなどを披露してくれました。1年生は、一つ一つの出し物を、身を乗り出して観ていました。きっと、「小学校には、こんなに素敵なお兄さんやお姉さんがいるんだ」と感じてくれたことでしょう。

この会を企画し盛り上げてくれたのが、6年生でした。最初から最後まで体育館で見守り、大きな拍手や声援を送ったり、よつば委員が進行をしたりして、活気のある温かい会になり、見事に成功させてくれました。

また、今月は3年ぶりに「あいさつスター運動」を行いました。朝、生活委員会の子どもたちが校門に立ち、「おはようございます」と率先してあいさつをします。また、担当の教員が自分から元気よくあいさつをする子へカードを渡します。もらったカードを各学級ごとに貼り出して貯めていき、週間の最後に学級の平均数を出して「あいさつスター学級」を決定するという取組です。「あいさつスター運動」が始まると、日を追うにつれてあいさつの声が大きくなり、自分からあいさつをする子どもがみるみる増えてきます。朝から挨拶が飛び交い、活気のある一日のスタートが切れるのはうれしいことです。



お気づきの通り、この「カード」は動機づけにすぎません。最初はカードを目的にあいさつする子どもたちが、しだいに「あいさつすると気持ちがよい」「恥ずかしかったけれど、自分からあいさつをすることができた」など、あいさつがもたらす効果と価値に気づいてくれることを期待しています。

これまでの制限が緩和された今年度は、学校の中で友だち同士や異学年との交流や活動の幅を広げること努めたいと思っています。同じ時間と空間で過ごすことでしか得られない体験や共感、人格の基礎を作るこの時期には何事にも代えがたいものです。もちろん交わりが広がれば、喜びや楽しみだけではなく、悲しみを伴うトラブルも生じることでしょう。そうしたことを乗り越える経験をさせることもまた、学校の大事な役割ではないでしょうか。その経験を家庭や地域のみならず、見守り、支えていきたいと願っています。

わかばっこ
のささやき



(日常生活から感じたことをささやくコーナーです)

子どもたちの会話から、「〇〇さん、すごいね」「手伝おうか」「がんばったな」など、友だちのよい所を見つけて、認めたり励ましたりする言葉を聞いてうれしくなります。相手に対して先入観や偏見を持たずに関わることは大切なことですが、結構難しいことです。情報が多く溢れている現代に生きる私たちは、不確かな情報に惑わされない力、情報を無条件に他者へ伝えることなく断ち切ることができる力が求められています。これからの社会をより良くするために身に付けていきたい力だと思います。